

## 歯科医療機関と連携する取組み

日手術を受けるときに手術前から、口の中を清潔に保つことで、手術後の回復が早くなる、入院期間が短くなる、肺炎を起こす可能性が低くなるなどの、良い点がわかってきました。また、抗がん剤を使うときにも、口を綺麗にしておくことで、口内炎など副作用の発生が抑えられることもわかってきています。

入院患者さんの高齢化、嚥下機能の低下による誤嚥性肺炎患者は増加しており、滑舌低下・食べこぼし・わずかなむせ・かめない食品が増える・口の乾燥など、ほんの些細な症状に早めに気づき適切な対応をすることが、口の健康には重要とされています。

大和高田市立病院には歯科はありません。そこで、市立病院では、大和高田市歯科医師会との連携を図っています。

数年前から地域医療連携センターを中心に、双方の連絡を取れるような体制を作っています。必要な情報を共有できる紹介状の作成、知識を共有するための合同勉強会などを行なっています。

また、月に一回ですが、大和高田市歯科医師会から、歯科医師と歯科衛生士を、市立病院に派遣し、入院患者さんの口のトラブル、口の清掃方法の検討を行なっています。

そこで、もし、歯や入れ歯の治療が必要となった場合、かかりつけの歯科医の先生に連絡を取ったり、かかりつけの先生がいない場合、大和高田市歯科医師会から歯科医の先生を派遣してもらうこともあります。

治療を円滑に進め、また、少しでも回復を早くできるように、今後も地域の歯科医療機関と協働して進めていきたいと思っています。



大和高田市歯科医師会 地域医療連携担当 山本伸介  
大和高田市立病院 地域医療連携センター 上中直美